

国立会

中の会

国立会中の会会報：第48号
発行責任者：国立会中の会
会長 河村 隆造
連絡先 長谷川 042-576-9359



盆踊り



一番街主催くにたち駅前盆踊り

くにたち駅前盆踊り大会

今年も夏祭りの時期がやってきました。新校舎建設中の為、今年は第二小学校での開催がないため、8月3日と4日に（予定は2日と3日）、国立駅前で夏祭り＆盆踊り大会が旧駅舎東側広場で開催され、老若男女が楽しみました。

盆踊りは、定番の「東京音頭」「炭坑節」に加え、ご当地ソングの「国立音頭」や「くにたち囃子」。それに賑やかな「ドラえもん音頭」や「ダンシングオールナイト」「恋するフォーチュンクッキー」も。櫓の上でのリズムカルな太鼓に合わせての大盛り上がりでした。国立会中の会のブースの“スーパーボールすくい”では、二日間で約700名の浴衣を着た親子がお気に入りのボールを追いかけて夢中になっていました。（中2丁目 古川紀子）

二小のお母さん2人協力応援

くにたち駅前盆踊りに初めて参加し、スーパーボールすくいを担当いたしました。2日間の開催のうち1日だけの参加でしたが、子供たちの笑顔と活気が印象的でした。準備や運営にご尽力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。地域コミュニティの絆を強く感じる貴重な機会となり、来年もぜひ参加させていただきたいと存じます。（中2丁目 野田）



スーパーボールすくいに夢中

八小夏のハッピー盆踊り

8月11日、八小育成会主催による盆踊りが開催されました。初めての盆踊りが八小の体育館で開催されるとあって、どんな盆踊りになるのか、少々不安と期待でその日を待ちました。

1階の家庭科室には、縁日風に綿あめ、ポップコーン、かき氷、フランクフルト、レモネードのお店が並び大盛況でした。盆踊りの会場は、2階の体育館です。天井に提灯が吊り下げられ、太鼓が中央に置かれ準備万端。一橋大学の「盆踊りサークル昇舞」の学生さんの踊りにならい、はじめは恥ずかしそうにしていた子供達でしたが、最後はみんな輪になって盛り上がりました。学校行事が減少する中で、子供達の楽しい思い出作りを、地域も巻き込んで考え、来年に繋げていきたいです。（中1丁目 河村誠子）



八小育成会主催 夏のハッピー盆踊り

2025年 10月 11月 12月 中の会カレンダー

中の会イベント

- ・10月10日(金) 12:00 おとこの台所 中防災センター
- ・10月28日(火) 荻窪三庭園めぐり 国立駅集合(9:25)
- ・11月14日(金) 12:00 おとこの台所 中防災センター
- ・12月12日(金) 12:00 おとこの台所 中防災センター
- ・12月28日(日) 11:30 中の会餅つき会 中防災センター

おとこの台所 申し込み先：
田代 080-9578-7340
前日まで先着25名受付ます

荻窪三庭園めぐり 申し込み先：
古川 080-5033-8225
最終締め切り日：10月14日

大学通り清掃（毎月第2日曜日、第4日曜日）

- ・10月12日(日)、26日(日) 9:00 ガスト南集合
- ・11月 9日(日)、23日(日) 9:00 ガスト南集合
- ・12月14日(日)、28日(日) 9:00 ガスト南集合

資源物回収

- ・10月 4日(土) 8:30 中防災センターへ集積
 - ・11月 1日(土) 8:30 中防災センターへ集積
 - ・12月 6日(土) 8:30 中防災センターへ集積
- （雨天の場合は、当日午前7時に判断し、状況により翌週に順延）

中の会理事会

- ・10月17日(金) 19:30 オンライン会議
- ・11月15日(土) 10:00 中1丁目集会所（予定）
- ・12月19日(金) 19:30 オンライン会議



理事会

日時：令和7年6月20日（金）19時30分
オンライン 出席者13名 議題は次の通り

1. 令和7年中の会総代会を終えて、自由発言。土曜日開催、2部形式、昼食弁当の評価、内容等について種々発言があり、今後も今回のスタイルを踏襲して総代会を開催することを確認した。
2. くにたち駅前盆踊り、中の会の傷害・賠償責任保険の更新、年会費の徴収状況、くにたち朝顔市の役員出動について報告確認があった。

日時：令和7年7月19日（土）10時00分
場所：中1丁目集会所 出席者12名 議題は次の通り

1. 8.2、8.3くにたち駅前盆踊り大会への役員出動等について確認があった。
2. 令和7年度中の会の傷害保険・総合賠償責任保険の契約内容について報告があり、原案を承認した。
3. 資源物回収に対する、国立市からの奨励金の使途について種々検討。PJチーム（田代、吉田、菊谷）を結成し、原案を作成することになった。

日時：令和7年8月15日（金）19時30分
オンライン 出席者12名 議題は次の通り

1. 中の会として参加出店した、8.3、8.4くにたち駅前盆踊り大会の終了報告があった。
2. 8.11国立八小の夏のハッピー盆踊りへの、役員出動について報告があった。
3. 中の会の防災訓練の日程について再検討することになった。
4. 中防災センターふれあい文化祭は11月24日（月）振休に開催するとの報告があった。
5. 中の会会報48号の内容について検討した。



新入会員 令和7年7月から9月の期間に、中1丁目で2名、中2丁目で2名の方が中の会に入会され、総会員数は413名になりました。

編集後記

国立会中の会は、ホームページを立ち上げています。お知らせ、スケジュール、活動状況、発行した会報などを提供しています。是非、ご利用ください。

なお、ご意見、要望は nakanokaikunitachi@gmail.com お願いします。



ホームページ

朝顔市（7月5日、6日）に参加して

朝顔市開場6:30の前には既にも多くのお客様。やはり朝顔が生き生きと美しいこの時間帯がおすすめである。どの鉢が丈夫か？どの色が良いか？お客様もスタッフもお目に適う一鉢を真剣に熱心に吟味し選んでいく。

朝顔市の会場は「我が朝顔を見つけよう！」との共通の思いで満たされ、この明るく未来志向の空気感がとても清々しく心地良い。

常連のお客様、栽培テクニックご伝授をありがとうございます！まだ足を運ばれた事のない方、大輪の朝顔の鉢が並ぶ光景を見るだけでも夏の思い出がより華やきますよ！中の会スタッフとして参加し今年で3回目。来年もまた皆様とご一緒に「我が朝顔」探しが出来ます事を楽しみにしております！



朝顔市にお手伝いの会員の方々



出店前の朝顔

2025年9月World Cleanup Dayに国立会中の会も参加

2008年バルト三国の一つエストニアで始まった地域の小さなごみ清掃活動が継続的に行われ、2024年には世界の191カ国2300万人が参加するという、大きなうねりになっています。

World Cleanup Dayは毎年9月20日を国連国際Dayとして

定め、世界一斉ごみ拾い日としています。World Cleanup Day Japanは、平日参加が困難な個人や団体のため、また台風などで開催が難しい季節でもあるため、実施を9月1日～9月30日までとしています。

日本の環境省は2025年から後援すると決め、国立市には2022年から後援を頂いています。国立会中の会の皆さまには既に3年参加していただき、有難うございます。身近な場所のごみ拾いをしながら、世界の環境を美しくしていきましょう。

(World Cleanup Day Japanくになち 北1丁目 小出聡)

<大学通り清掃>

大学通り夏時間清掃最終日の8月24日は、午前7時というのに、気温は既に28度を超えていました。本日も早朝よりお世話様でございました。皆さんで掃き清めた大学通りは一段と美しいですね。暑いながらも気持ちが凜とします。そして、冷たい麦茶もありがとうございました！とても美味しく身体に沁み入り、至福の一杯でございました。

(中2丁目 樋町)



大学通り清掃の方々

<環境美化担当ロンドンに長期出張中 小野さんからの便り>

ロンドン市民と自然



ロンドン テムズ川風景

ロンドンでは中心地にも至る所に公園があり、人々はそこで腰を下ろして一時を過ごしています。自宅近くのテムズ川には、東京ではほとんど見かけなくなった土の歩道があり、人々は散歩・ジョギング・サイクリングをし、川ではボートに乗っています。科学を作って自然を制御してきた欧州人は都市環境も理解していて、その自然を利用して生活の一部にしているようです。一方、アジアでいち早く西洋科学を受け入れた日本では、現在、数少ない東京都心の緑地も商業化しようとしています。政治はどちらを向いているのでしょうか。多摩の自然も守らなければなりません。国立の大学通りも無機質なものにしたいけません。

(ロンドン在住 小野泰央)



皆さんの寄稿をお待ちしています!!!

「国立会中の会」は来年秋、創立50年を迎えます。これを記念して会員の皆さんからわが街「国立」についての想い出や感想、町の移り変わり、忘れられない出来事や人物、これからの事、そのほか何でも結構です、文章・写真をお寄せいただき、一年間（4報）に亘って会報の特集頁としてお届けすることを企画しております。多くの皆さんからのご寄稿を切にお願いする次第です。

寄稿送り先：会報表題記載の連絡先 または メール：nakanokaikunitachi@gmail.com お願いします。

会報編集担当の1人として、国立の自治会の歩みを振り返る

ご承知のように、元々「国立会」は国立の歴史と共に歩み始めました。学園都市国立の開発計画は関東大震災の翌年、大正13年にスタートし、昭和2年4月には東京商科大学の一部が国立に移転してきました。そして翌年の9月には自治会として「国立町会」が発足し、駐在所の建物を建設して府中警察署に巡査の派遣を要望したり、昭和9年には前年の皇太子生誕を祝して大学通りに桜並木の記念植樹を企画したりと誕生間もない「大学町」独自の指針を掲げ、通常の自治会活動の域を超えた存在感を示しました。「村の北端に突如誕生した『大学町』」と言うことで、行政がなかなか行き届かなかったと言うこともあったのでしょう。



多摩信用金庫そばの自治会事務所

た望楼（火の見櫓）の東側に隣接して建てられた事務所を拠点に、町の発展、町民融和のリーダー格として活躍しました。

その後人口の増加に伴って会も肥大化したため、昭和51年（1976年）11月に「国立会」は「国立会東の会」「国立会中の会」とに分かれて再発足しました。駅前の区画整理で会の事務所が建てられていた土地が売却されることになり、活動拠点の事務所も撤去されたことを機に発展的に二分したのです。

国立会中の会はこのように国立の草分け的自治会で、現在会員は400世帯強です。新年会、旅行など会員相互の親睦行事のほか福祉事業、防災事業への参加を継続していますが、東日本大震災後、地域住民の共助をより徹底しなければならないと中地域の皆さんにあらためて入会を呼び掛けて自治会組織としての充実をはかり、広報活動としては会報を復活させました。環境美化、防災活動や新しく始めた資源物回収運動にも今まで以上に多くの皆さんにお声を掛け絆の輪を広げるよう努めています。また、子供を通じて若い世代の方々にも輪を広げようと盆踊りの企画に参加したり、餅つき大会を催したりして地域の子供たちに喜んでもらうよう活動の幅を広げています。

「中の会 みんなで楽しく助け合い」 「中の会 みんなで作ろう頼れる仲間」

が会として掲げているスローガンです。若い方々にも大勢加入していただき、安全で住みよい街づくりに努めましょう。



(中1丁目 木島常明)



国立会中の会 会報第1号